

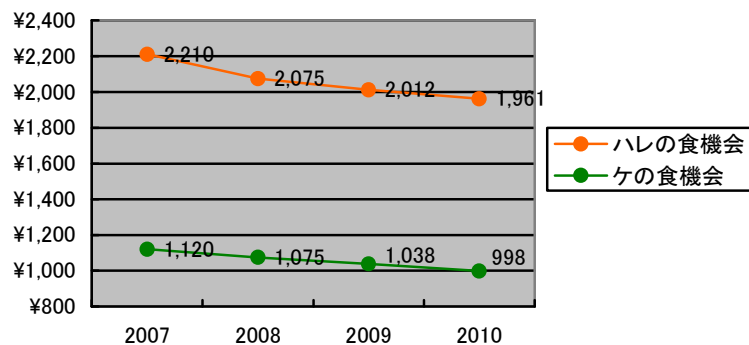
－ ハレの食機会、ケの食機会 － (エヌピーディー・ジャパン 社 調べ)

～ 「ハレ」の食機会 20～30代男性の客単価アップを目指せ ～

【東京、2011年1月18日】長引く不況で外食産業には厳しい状況が続いているが、「ハレ」と「ケ」(※1)の外食では、どのような違いがあるのだろうか。(ハレ、ケとは・・・ハレ(晴れ)は祝い事、イベント、旅行などの「非日常」、ケ(曇)は普段の生活である「日常」を表す。)

グラフ1は、エヌピーディー・ジャパン社が提供する外食・中食市場データサービス CREST(※2) より抜粋した、2007年から2010年の外食における平均客単価の推移である。2007年から2010年にかけて、「ケ」の客単価は122円、「ハレ」は249円下がっており、「ハレ」の方が下降傾向にあることが分かる。「ハレ」の食機会も節約を徹底しているのだろうか。

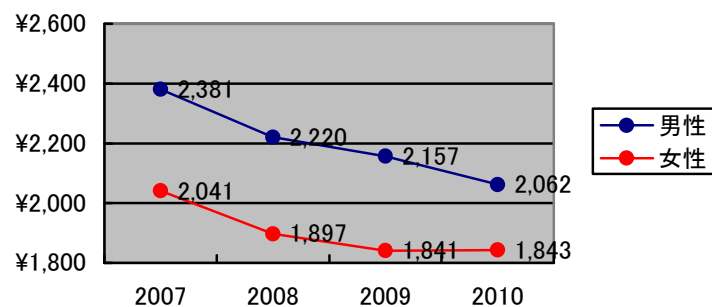
グラフ1【外食 平均客単価】
(注. 各年とも12月分は含まない)



(エヌピーディー・ジャパン(株) 'CREST' より)

では、「ハレ」の外食の客単価の動向に、男女で差はあるのだろうか。CREST のデータを使い、平均客単価を男女別に比較すると、2007年では男性の方が女性より340円高いが、男性の客単価の下降傾向が著しく、2010年には、その差は219円になっていることが分かる。(グラフ2)

グラフ2【ハレの食機会 外食 平均客単価】
(注. 各年とも12月分は含まない)

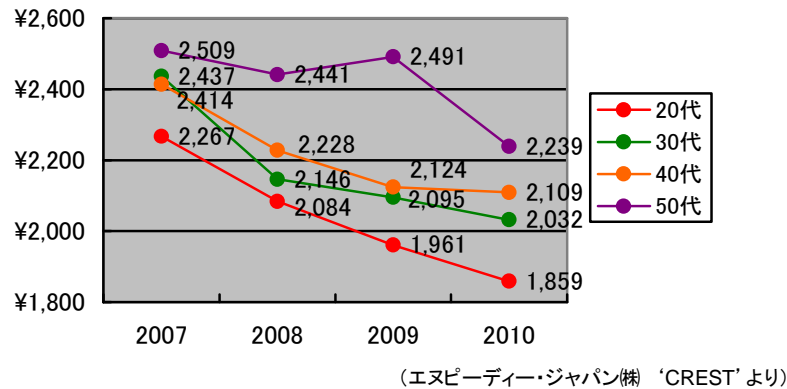


(エヌピーディー・ジャパン(株) 'CREST' より)

さらに、その男性について年代別に見てみるとどうだろうか。全体的に低下しているが、2007年と2010年で客単価の下がり額は、20代 408円、30代 405円、40代 305円、50代 270円となっていて(グラフ3)、20-30代の低下傾向が大きい。

「ハレ」の日でも、財布の紐が固いのは若い男性のようだ。彼らに向けて、「ハレ」的な外食の魅力(独特の雰囲気やサービス)をアピールしていく努力も外食産業に求められているのかもしれない。
(原菜穂子)

グラフ3 【男性 ハレの食機会 外食 平均客単価】
(注. 各年とも12月分は含まない)



※1 CRESTにおける、「ハレ」「ケ」の定義

「ハレ」: 誕生日、旅行中、結婚記念日、出張中、歓送迎会、合コン、その他
「ケ」: 上記以外の食機会

※2 CREST(クレスト)とは、約20,000人/月のサンプル数を誇る、2003年より開始したサービスであり、外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」という情報を1年365日、直接消費者から収集し、データベース化した情報サービスです。

The NPD Group について

The NPD Group は、信頼性の高い消費者/小売り情報を幅広い産業に提供している、リサーチ業界のリーディング・カンパニーです。現在では、製造業/小売業/サービス業を営む1,800社以上のお客様に対し情報サービスを提供しており、様々な場面でお客様のビジネスにおける意思決定をサポートしています。日本には5つの事業部(フードサービス、スポーツ、アパレル、テクノロジー、ディスプレイサーチ事業部)があり、お客様の新たなビジネス機会の発見や商品開発、マーケティング・営業活動、マーチャンダイジングに貢献しております。

お問合せ先/メールの配信・解除は以下のアドレスまでご連絡お願い致します。

npdjapan.info@npd.com

担当: 小野 雄大

エヌピーディー・ジャパン株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング 13階

TEL: (03) 5798 - 7663 / FAX: (03) 5798 - 7665

www.npdjapan.com